

少女と
早起
か



了水了水屋

R-18

少女と早起き

目次

1. 朝のジョギング 2～24
2. 夜の陸上部 25～51
3. 早朝ハイキング 52～74

季節が真夏へと移り行く
そんなある日の早朝に
私は町の中を一人走っていた

は、

は、

は、

は

こうして走っていると
色々と最近の悩みが
思い浮かぶ 例えは…

進学で親元を離れての生活にも
慣れ そろそろ何かしようかと
早朝ジョギングを始めたのだ

新しい学生生活は
至って順調で
平穏ではあるけれど

は、



恋人も居なければ趣味もなく
これと言った目標もない私は

は、

何かを見つけ出す為の
準備期間なのだと思いたい

きっと素敵な
発見があると信じて

タッ

は、

そんな取り留めもない事を
考えたりしながら
私は走っていたりする

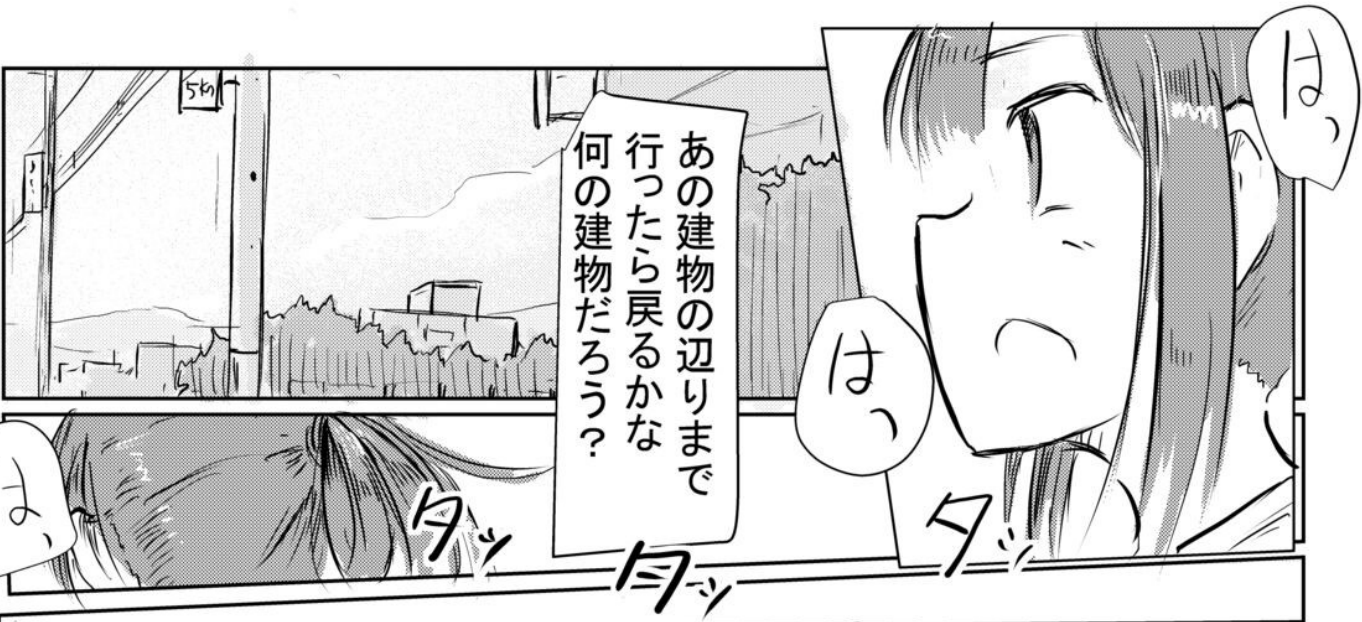
は、

心に漠然とした不安が
芽生え始めていて…

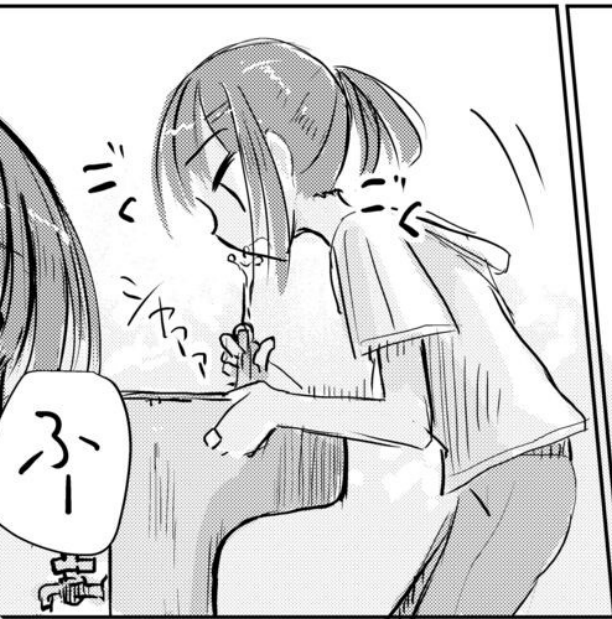
でもそれは多分
慣れない町を探りながら
走っている今と同じように

つと
青信号だ





ニャーニャーニャー



休憩には
丁度良いね

フー

いかにも公園って感じ
昼間は小さい子供達が
楽しそうに遊んでそう

こっぴの地元には
無かったから新鮮だ…

ついでに周囲を
散策してみよう

フワ フワ





隣の建物は学校…
とは違う気がする

玄関までいったら
何か解るはず



わあ…これ何たる
電車？置物？

7A 2A





天気予報だと
晴れのはずなのに…

滝みたいだ

降り止む気配が
全然ないなあ…

上着だけじゃなくて
シャツも絞るか…

うーん…中まで
びしょ濡れだ

風邪ひいたら
困るし…

この雨なら誰も
来ないよね

ザアアアアア

ザアアアア

じと…

ザアアアア

ポタ

濡れたから
絞るだけ…

ああ…
脱いじゃった

何だろう
ドキドキしてきた

すぐに
済むから…

この際だし
ズボンも絞ろうか

どうせ誰も
見てないんだし

大丈夫
大丈夫…

外で
下着姿に…

人に見られたら
どうしよう…

でもなんだか
楽しいや

いやまって…
そんな訳は…

もしかして私って
変態なのかな？

下着も全部
脱いでみようかな

悪い事と解ってるのに
止められない

どうみても
変質者だよな…

ああ…
脱いじゃった

上も下も
全部…

ゾクゾクする…
ああ…これ好き

少しだけ
このままで…



仄かに漂う
自分の体温が
とても愛おしい

裸で歩いたら
楽しそう…

濡れちゃうけど
今なら出来るよね

ちよつとだけ
試してみよう

私は自身の温もりを
楽しみながら
良からぬ企みをする

外で裸になるのって
不思議な感じ

ギ
アアアアアアア

ビ
ヤアアアアアア

ゴ
アアアアアアア





やばっ

周りを確認しないで
表に出ちゃった…

土砂降りの
大雨だし…

良かった
誰も居ない…

次から
気を付けなきゃ

離れてたら
見えないよね…

アアアアアアアア

ザッザッ

あ

あ

全裸で散歩…

はぁ

今…雨が弱まったから
周りから丸見えだ

もし誰かが
通りかかったら

はぁ

絶対に
ヤバイよね…

そんな想像をしていると
下腹部が疼いてきた

ん



こんなに広くて
開けた場所で

いつ雨が弱まるか
分からないのに…

本当に
危ないのに…

欲求を
抑えれない

少しだけなら
良いよね？

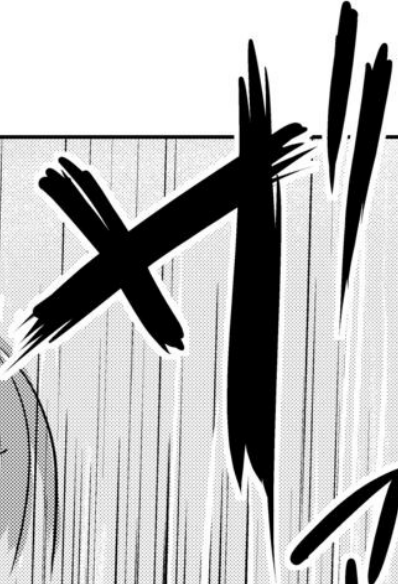
ん

あ

は

は

ん



んんん

やはり私は
変態なのかな？

誰かに見つかったら
大変な事になるのに…

なんでこんな事して
興奮してるの？

もし今誰かに
見られたら…

ギ
アアアアアアアアアア

あ

ア
ヒ
ユ
ジ

グ
キ
ユ

バ
ク

ん

キ
ユ

は

ん

ク
キ
ユ

ク
キ
ユ

ク
キ
ユ

ク
キ
ユ



それも男の人
に見られたら…

グアアアアア

グアアアアア

妄想が
止まらない

多分

はっ

はっ

そのまま物陰に
連れ込まれて

滅茶苦茶に
されちゃうよね…

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

グアアアアア



全裸でオナニーしてる
こんな変態なんだし！

きつと何度も
犯されて！

ああ 私の人生
壊れちゃう！！

どうみても私が
誘ってるよね！

だけど…
壊れてみたい…

クダ

クダ

クダ

クダ

クダ

クダ

クダ

あ

ん

あ

ん

↑



あ

ああ…
誰か…

あ

まあこの雨で
来るわけ…

あ

あ…バス
え…見えて？

望みが通じたのか
目の前をバスが横切り…

ブロロロロ

アアアアア



待つて待つて
なんか停まって…

目の前で
停車した

はっ

見つかった？
あっ…信号待ち？

はっ

この土砂降りだし
見えてないよ…ね？

へ…下手に動いたら
目立つよね

ハッ

ハッ

ハッ

このまま
やり過ぎそう…

あはッ

私本当に
興奮してる

ドゥルルルルルル



見つかったら
人生終了なのに！

誰かに
見て欲しい

見て！

ずぶ濡れ全裸で
オナニーしている変態を！

私を
見つけて！

自身の人生を賭けた
オナニーは途轍もなく甘美で



大雨に霞むバスに
見せつけるように

盛大に絶頂した





雨が…
気持ちいいな

あぁ…バス
行っちゃった…

走り去るバスを
見送りながら
雨に打たれていると

素敵な趣味を
見つけた気がする

何やってるんだろ
私…でも

滾っていた劣情が
雨に洗い流されていく
そんな気がした



大雨だったんだ？
寝てたから全然
気づかなかったわ

↑

ジヨギングしてたら
ずぶ濡れになっちゃった

そーいやさー
朝の大雨凄かったよね

ギャ
ギャ

よ

走るの好きなら
陸上部の友達に
紹介するよ？

やだよー

そこまで真面目に
運動したくないし…

だよー
私も断ったもん

でねー
でさー

陸上部かあ…

外を裸で
走ったら

またね

きっと気持ち
良いよね…

ニ
リ
リ
リ

んあ…何で
こんな時間に

あそうだ
早く起きて…

ふー
あー

でもちよつと
早すぎたかも…

まあこういうのは
余裕が大事

フ
ッ

家主のお姉ちゃん
夜勤で不在の好都合！

この時間帯なら
人に会う確率も低いし

行ってきまーす！



外に出ると
まだ辺りは闇の中

早朝というより
まだ深夜か…

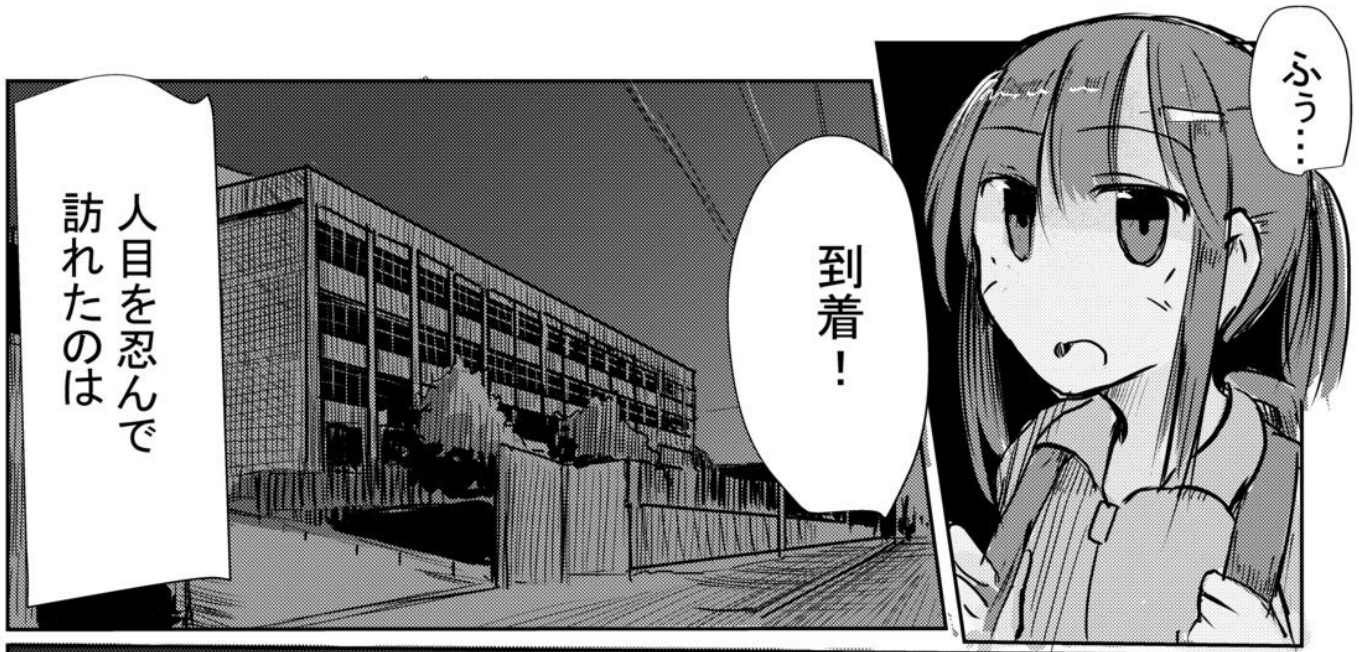
ジョギングには
まだ早い時間帯

どちらかと言うと
深夜徘徊だよ

私は人に見つからないよう
周囲に注意しながら
足早に目的地へと向かった

19

19



人目を忍んで訪れたのは

到着！

ふう…



私が通っている学校のグラウンドだ

昼間とは全然違うね…ドキドキする

昨日想像した行為を試してみる為だったり…

よし！
始めるか

準備は
万端

予めジャージの下には
何も着ていないから

すぐに全裸だ！

身体はもう
期待で滾ってて

このままオナニー
したいくらい

ズルッ

タラッ

ズ
ー
ッ

ズ
ッ
ズ
ッ



ふふ…

でも今は…
我慢我慢だ

ガッ



だって…走りに
来たんだから

アッ

遊ぶのは
終わってからね

ガッ

多分私が
初めてだよ

全裸でここを
走るのは

きっと
楽しいと思う

健康的だし

運動するのに
余計な物は要らないんだ

古代の運動会は
全裸でやってたらしいし

ただ…全裸だと
結構涼しいかも

スースー
する…

ブルッ

まあ走りだしたら
すぐに温まるか

は、

は、

さあ
始めよう

夜のグラウンドを
私は走り出す

全てを
脱ぎ去り

は、

素足で地面を
踏みしめて

は、



闇の中を
裸でひた走る

誰も居ない
一人だけの世界

は、

身体と周りが融け合い
全てと繋がるような…



は、

クッ

は、

不思議な
体感

か、

こんな体験 昼間には
出来ないよね

夜の陸上部
部員は私だけ



は、

は、

クッ

クッ

クッ



あつという間に三周目
もっと走れそうだけど...

そろそろ
他にも...

何か無いかな...

気持ちいい...

あ！横に
丁度いいのが

走り幅跳び
...だよな？

面白そう！

何年ぶりだろ

よーし...

は...

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

行くぞー！

勢いを付けて…

踏切板で

大きく
跳躍だ！





はあ…運動って
楽しいなあ…

は

陸上部
入るかな…

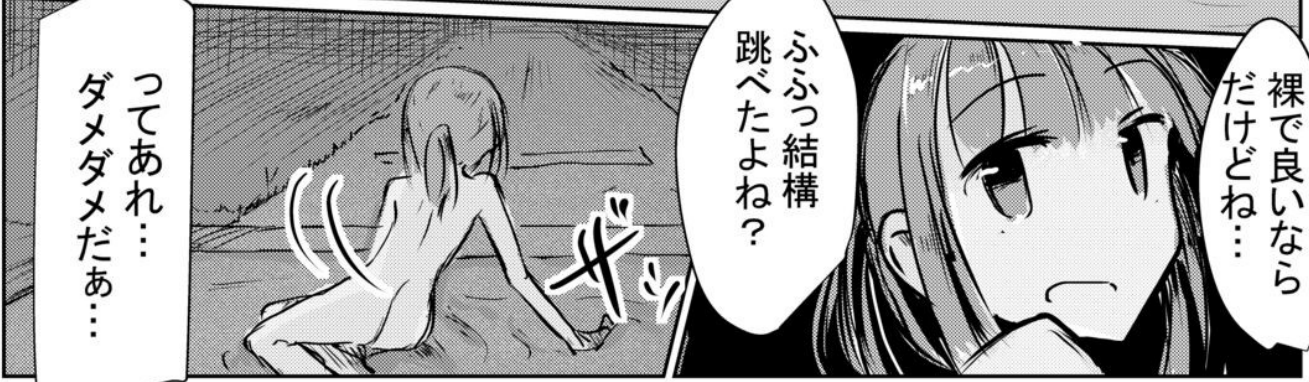
は



裸で良いなら
だけどね…

ふふっ結構
跳べたよね？

ってあれ…
ダメダメだあ…



心地良い疲労感に
騙されたか…

むー
残念

もう「JJ」で
遊んじゃうか

あーダメだ…
全身砂まみれ

うわ…

おマンコの中まで
沢山入ってるし…

砂の赤ちゃん
妊娠しちゃうよ



洗い流すまで
お預けだね

ちあて……と

アッ

ポロ

ポロ
ポロ
ポロ

空が薄っすらと
明るくなってきたし

最後に一周して
戻るとするか……



野球部側へと進むと
地面がぬかるんでいた

うわ…

水捌けが悪いのかな？
こんな所で部活するとか
野球部って大変だね

乾いてる所を
歩こ…っ!?





痛たたた...

地面が柔らかくてよかつたあ

うわッ 泥だらけだ

まあ水飲み場で洗えばいいか

どうせなら
泥だらけになって
遊んじゃえ!

動物みたいに
四つん這いだ!

ん?

ホームベース…
だっけ?

野球だと
ここから出たり
入ったりするんだよね

フチャ

フチャ

出たり
入ったりか…

べちゃっ

おマンコみたいだね
大先輩だ！ふふ

フフ…

サッ

フッ

私もいつか誰かの
ホームベースになれるかな

フッ

サッ

楽しみだなあ…

ぬちよ

ぬちよ

いっぱい入れて
沢山産んで…

普段は部活の皆が
練習してる場所で
酷い妄想してるね…

あ

ああ…泥だらけの手で
おマンコ弄っちゃった

ズグググ……

まあ砂も入ってたし
泥も大差無いか

ふか

後で洗えば
良いんだし…

それに

ぬ
あ
あ

こんな特等席で
裸になって遊ぶなんて
滅多に出来ないんだし

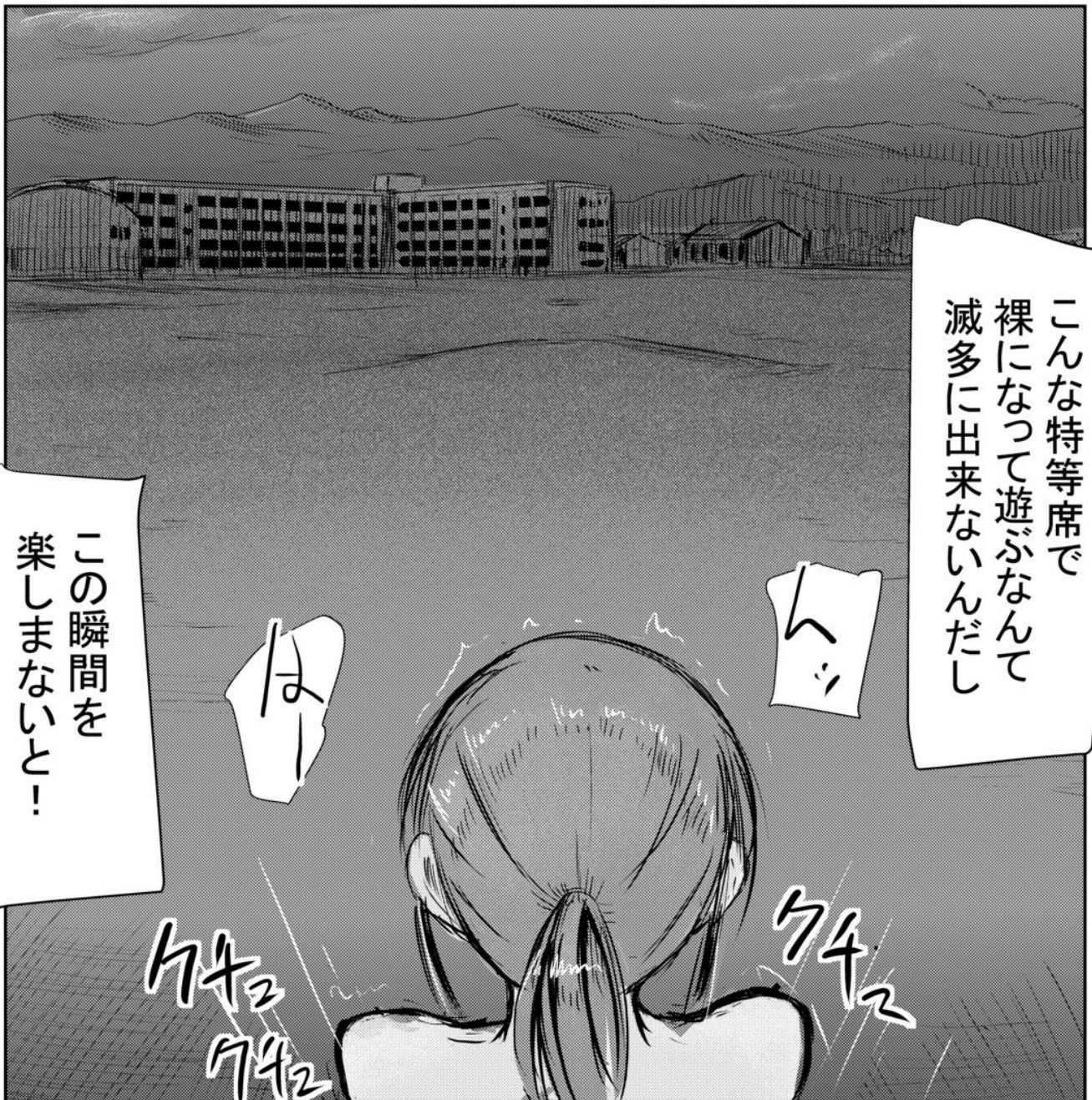
この瞬間を
楽しまないとい！

はー

んっ

んんん
んんん

んんん



皆の青春の記憶が
染み込む大切な
場所です…



私は全裸になって
オナニーをしている

背徳感で劣情が刺激され
おマンコの中が煮えて
溶けてしまいそうだ

徐々に
空が白んで

辺りが明るく
なってきた

このままだと周りから
見られてしまうのに

こんなに
気持ちいいなら

誰かに
見られても…

オナニーを
止められない

ん

あ

ん

あ

ん

ア

ア

ア

ア

ア

は

は

ア

ア

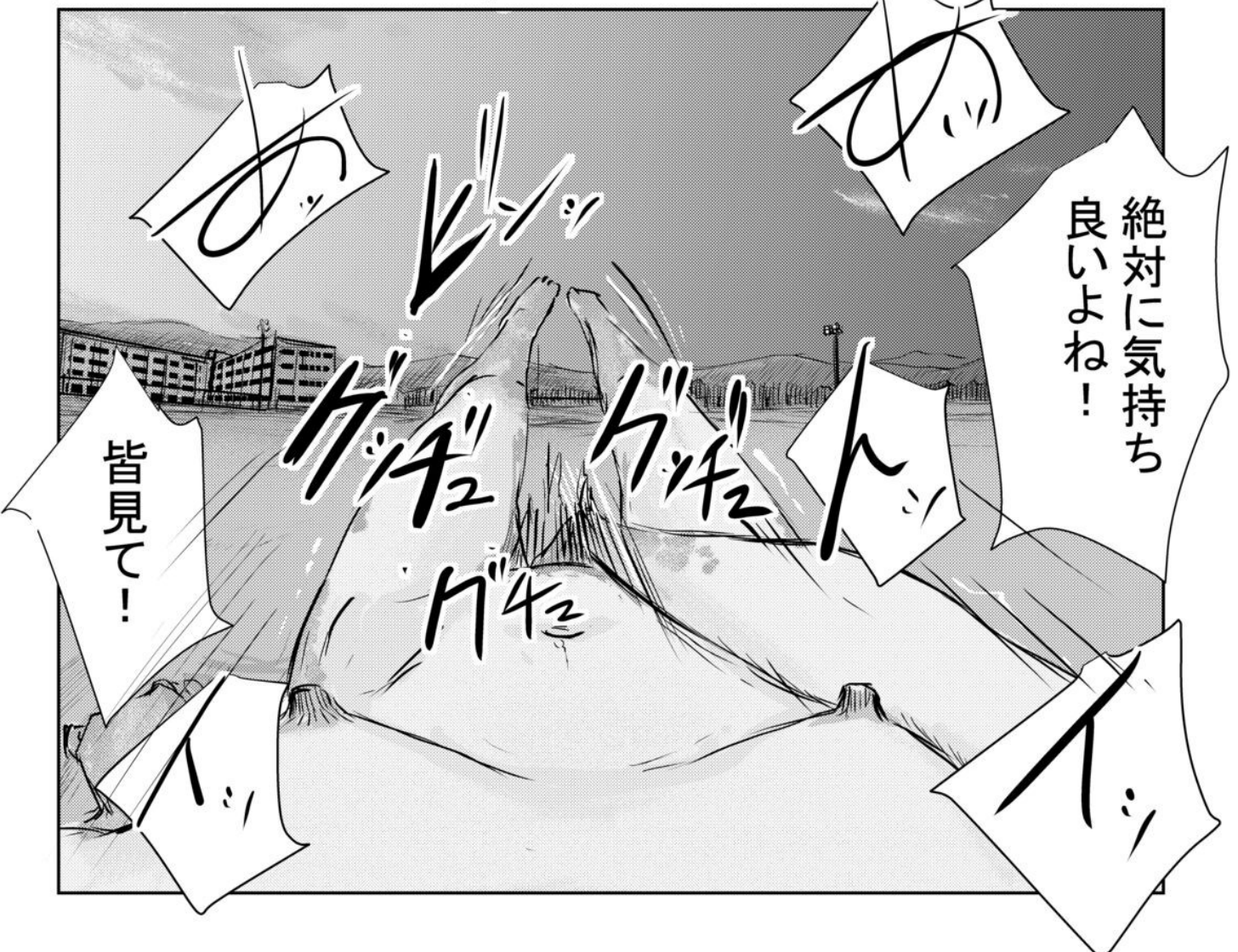




皆に変態だって
バレたりしたら…

ああ…良い！
見せつけない

皆の前で
全裸オナニーしたら



絶対に気持ち
良いよね！

皆見て！



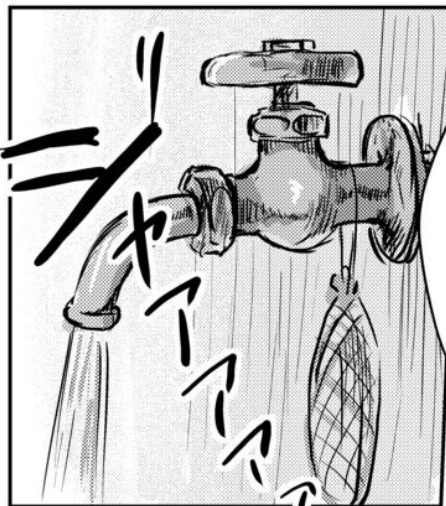
ああ…気持ち
…良かった

夜の全裸運動…
癖になりそう

毎日しても
良いくらい

恋人を持つよりも
ずっと刺激的だね





程々に
しないとね



でも そのうち本当に
見つかって酷い目に
あうんだらうな…



はあ 運動の後の
水浴びは最高

水の無駄遣いだって
怒られちゃうかな？



おマンコの
中も洗わないと…

直接流せれば
いいんだけど…



流しの横に丁度良い
蛇口が有った

これで中も
洗い流せるね

ひゃっ!?
冷たっ!

奥まで水圧で
洗い流して...

お掃除完了だ!

んんん...

このまま帰るのも
勿体ない気がする

はー

んんん...

少し寄り道して
帰るとするか

行ってみたい
場所もあるし

フカッ



いつも通学途中に
目にする物体が

444...
近くの小高い丘
の上に建つてて...



思ったより
山の中...

この道で
合ってるのかな？



あ何か
看板がある



ここを
まっすぐ行けば...

それを見に
行きたいなって

キャンプ場か
誰も居ないね

夏休みには
混雑しそう…

看板の先にあったのは
無人のキャンプ場と…

あ！この階段から
行けるんだ

目的地へ通じる
遊歩道があった

誰も居ない
遊歩道か

良い事
思いついた！

準備完了！
脱ぐのは慣れたモノ

全裸で
歩いて行こう！

手ぶらが
一番！

どうせ直ぐに
戻るし！

ついでにリニツクを
ニジニ隠してよ...



全裸で
山の中…

こっついうのも
素敵だね

ここに有るのは
私と自然だけ

野生に
帰ったみたい

早朝の山林は
濃厚な自然の匂いで
満たされていて

私自身も心なしか
瑞々しくなった気がする

森林浴って
言うのかな？



こいで過すのも
面白そうだね

カーカーカー

はー

はー

ふー

ふー

ふー

軽い気持ちで
来たのは良いけど

ちよつと
疲れてきた

そういえば昨日から
運動ばかりだし…

こんど日を改めて
遊びに来なきゃ…

あ…遊歩道の先が
開けてきた!



ジャンプ台…
これを見に来たんだ

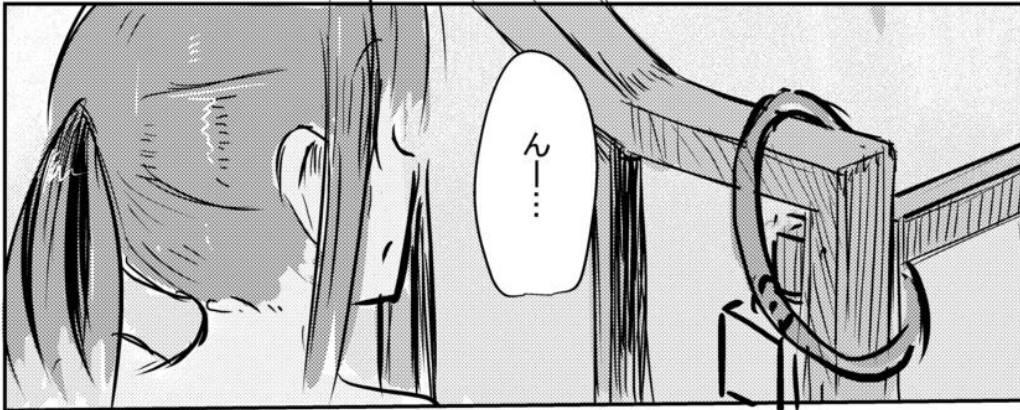
数年前までは
使ってたとか

登ったらどんな景色が
見えるのかな？

立入禁止
かあ…

誰も居ない
今なら…





ん！…

施錠は一応
してあるけど…



問題なく
乗り越えれそう

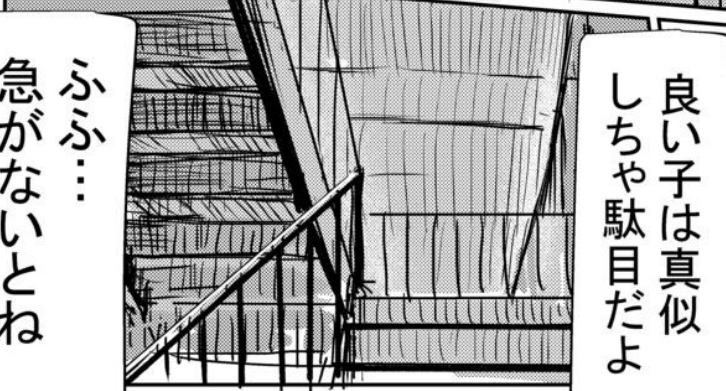
っと

のし、

ぬふ、



横からなら
多分入れるね



ふふ…
急がないとね

良い子は真似
しちゃ駄目だよ

侵入成功！

結構明るく
なってきたし

登って満足したら
早く戻らないと

この階段を
登れば到着かな？

足元が明るくて
助かるね…って

ん

へろろ
へろろ

下から
丸見え!?

うわ

急がなきゃ

ソクソク

長い階段を
登った先は

秘密の
基地みたい

周囲を板で覆われた
踊り場になっていた

ん

更に奥へと進むと
空に繋がる階段があり

私は空を求めて
階段を上った

アタタ

登頂成功…

ここが
一番上のはず

お

ギン

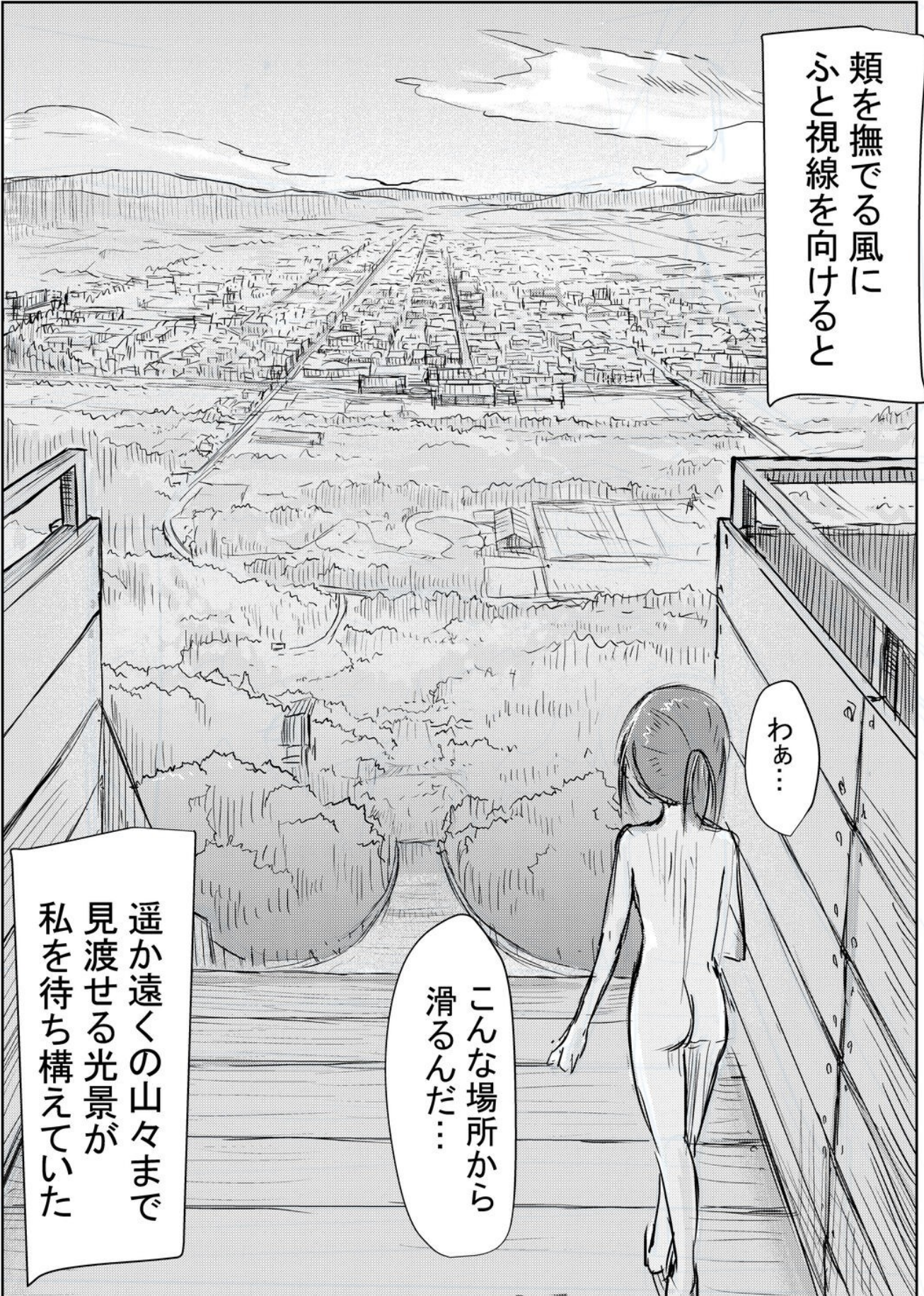
ギン

頬を撫でる風に
ふと視線を向けると

わあ…

こんな場所から
滑るんだ…

遥か遠くの山々まで
見渡せる光景が
私を待ち構えていた



身体を撫でる
風を楽しみながら

良い眺めー

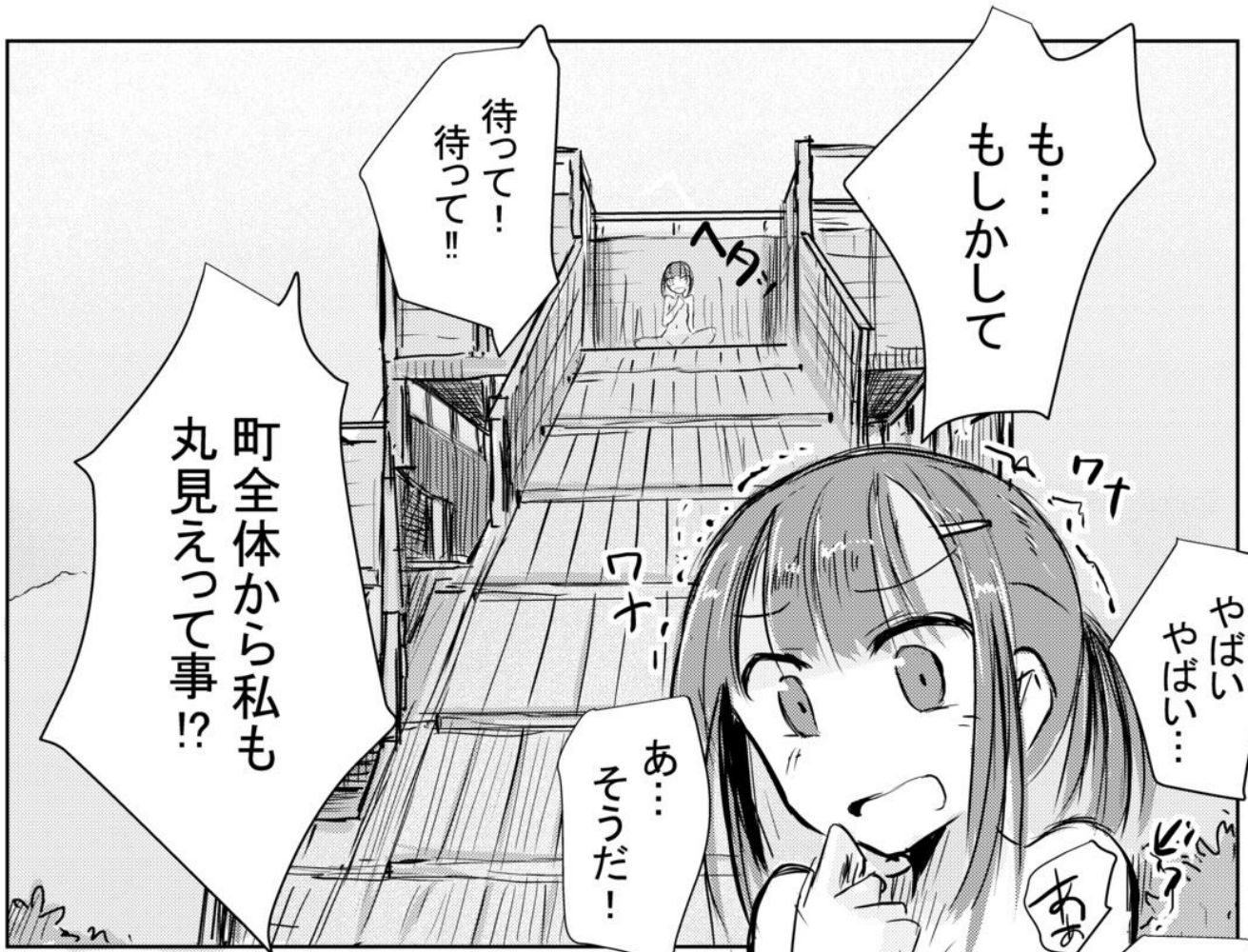
住んでる町が
一望できるし

もう使って無いなら
展望台にすればいいのに…

私は眼下に広がる
景色を楽しんだ

一望？
とっつことは…

ん？



も…
もしかして

待って！
待って！！

町全体から私も
丸見えって事!?

やばい
やばい…

あ…
そっか！



ま…まだ朝早いから
みんな寝てるよね！

だから
大丈夫！
うん！

あ…
焦ったあ…

でも

ここでオナニーしたら
楽しそうよね…

ああ…ダメ
我慢できない…

は…
す…少しだけなら
問題ないよね…

町から離れてるから
見えないはず！

このまま帰ったら
絶対後悔しちゃう！



私は今…

最高！

探していたモノを
見つけた気がする

人としての道は
確実に踏み外すけど

これこそが私の
人生なんだ！



将来は色んな場所を
全裸で遊んで

オナニー漬けで
過ぎすんだ!

きっと絶対に
素敵だよね!

誰かに
見られてもいい!

ああっ
もう自分を
止められない!

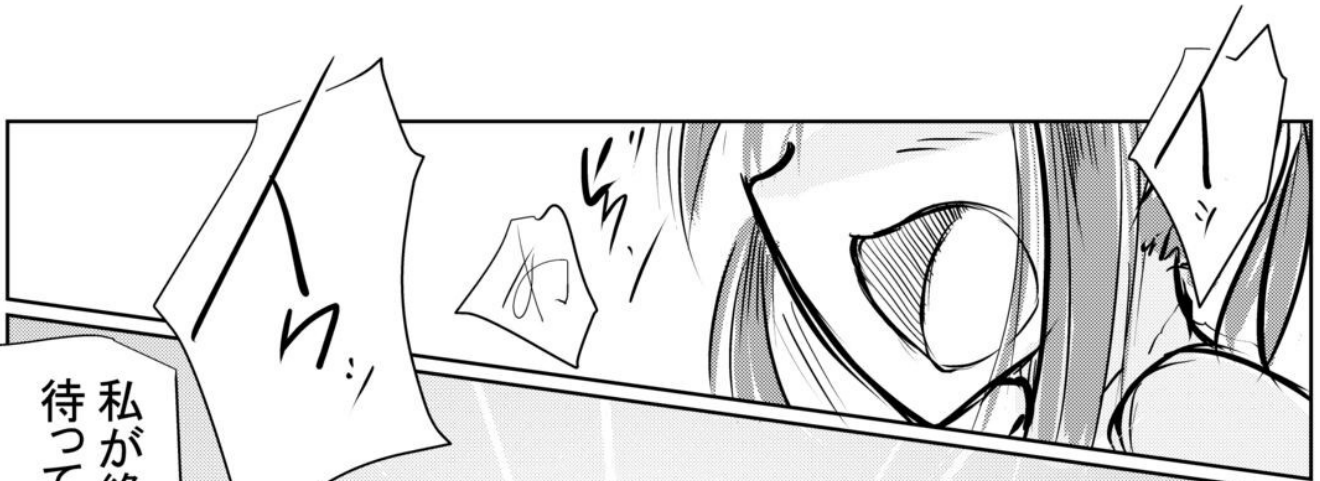


見て！

こんな所で
オナニーする変態を！

私を見て！！





私が絶頂するのを
待っていたかのように



朝の光が
私を貫いた

それはまるで
太陽からの祝福だ

全身で眩い光を
受け止めた私は

ジャンプ台の頂上で
何度も絶頂し続けた

胎の奥深くまで
幸福感で満たされ





住んでる町を
眺めながらの絶頂は

この先ずっと
忘れないだろう

こと浸ってないで
隠れないと…

はあ…
楽しかった

ふま〜

この辺なら
大丈夫かな

少し休んで
戻ろ…

私の青春が
始まった…

ヒソヒソ

ヒソ

あ…やば
眠くなってきた

少しだけ

少し…

ん…暑う…

ねーこで
お弁当たべよ

そっだねー

どうしよう
降りれない

へ!?人の声?
やば!寝すぎた!?

服を入れたリュックを
森に隠してきた私は

この場所で全裸のまま
隠れ続ける事となった

おわ!

あとがき

ご購入閲覧ありがとうございます。
(=°ω°)ノお久しぶりです。はじめましての人は初めまして。

今回も少女が野外で裸になって遊ぶ
少女シリーズをお送りしました。

今作は拡張プレイは無し、異物挿入も極力排除し
少女が純粹に野外オナニーにハマるとい
方向にて執筆いたしました。

野外で裸になるのは楽しいですよね|д`)

人に見られたらどうしようという恐怖心が刺激的快感となり
無事に終わると達成感を得て再び…と癖になるのです。

無論に見つからない事が大前提ではありますが…

さてはて露出についてのポリシーは人によりけりではありますが
尺も尽きたので今回はこの辺にて(´・ω・`)シ

40ページくらいにする予定が72ページよ

発行・著作権者

ろれる

HP <http://roreru.sakura.ne.jp>

EM roreru@roreru.sakura.ne.jp

pixiv 3728017

twitter @roreroreya

DO NOT REPOST !

無断複製及び再配布、無断翻訳再配布を禁止します。

Fanbox <https://roreroreya.fanbox.cc/>

Fantia <https://fantia.jp/fanclubs/6278>

Ci-en <https://ci-en.dlsite.com/creator/539>